

報道関係者各位



2019年12月17日  
ヒッポファミリークラブ

2020年3月1日、LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）で開催  
**「ことばの体験」を生きし3つ以上の言語で社会へメッセージを発信**  
**第7回 多言語プレゼンテーション大会の出場者19人が決定しました**  
インドネシアやベトナムなどの留学生が参加、子育て中のママプレゼンターも初登場



多言語教育を提唱するヒッポファミリークラブ（運営：一般財団法人 言語交流研究所、本部：東京都渋谷区、代表理事：鈴木堅史）は、2020年3月1日（日）、LINE CUBE SHIBUYA（渋谷公会堂）で、3つ以上の言語を使った多言語プレゼンテーション大会『LEX Multilingual Presentation for Youth Tokyo』を開催します。動画予選の結果、第7回目の本大会には19名の出場が決定しました。

この大会は、ヒッポファミリークラブの活動に参加して育った若者達が自らの多言語体験を世の中に伝える場として2015年1月に始まりました。これまでに登壇した若者達は約200人にのぼります。過去5年間の歴史を重ね、日本の高校や大学、日本語学校に通う外国人留学生なども参加し、ヒッポファミリークラブの会員以外にも開かれたものになりました。

予選審査は「体験エピソードの濃さとメッセージとの親和性」「独自性」「多言語による表現力」を総合的に判断し、大学生を中心とした有志で構成された実行委員会により行われました。その結果インドネシア・メキシコ・韓国・ベトナムからの留学生を含む17歳から29歳の出場者が選出されました。また本年より対象年齢を30歳に引き上げたことで、大会で初めて子育て中の母親からもプレゼンターが誕生しました。

今年の前選動画では、日本社会において外国人の存在感が高まるなか、多言語に触れることの素晴らしさを伝えるものだけでなく、海外留学や職場での体験に基づき、日常生活で目の前にいる外国人とどのように向き合うかを問かけるような内容が目立っていました。

今回選出された19名の出場者は、近隣のヒッポファミリークラブ会員の支援を受けながらプレゼンテーションを完成させ、3月1日に開催される本選に挑みます。また大会前日には今回の前選で出場に至らなかった応募者の中で再び前選が行われ、追加の出場者が決定されます。

第6回大会の様子をまとめた公式ムービー（約3分30秒）は下記からご覧いただけます  
<https://youtu.be/dt05AvtTvmg>

【報道関係お問い合わせ先】

ヒッポファミリークラブ 広報室 E-mail:kouhou@lexhippo.gr.jp

TEL:03-5467-7041（代表電話のため受付は9:00～17:30となります。ご不便をおかけしますがあらかじめご了承ください）

# PRESS RELEASE

## \* 第6回大会（2019年3月10日開催）の各プレゼンテーションのノーカット版映像

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLYX7ioEUbyrH1iKCjQPggF0V901WmqENS>

## \* 公式 Facebook

<https://www.facebook.com/lmpyouthtokyo/>

## \* Instagram

@lmpyouthtokyo

## 〈動画予選通過者一覧〉

氏名（国籍／年齢）	プレゼンテーションテーマ	ひとこと紹介
粟井 仁瑚 （日本／17歳）	Te amo ～テアモが大事!!!～	1年間のメキシコ留学から今夏帰国。高校2年生。
Eko Julianto Kumenap （インドネシア／17歳）	Action for Natural Disasters	インドネシアからの留学生。津波体験から防災に関心を持つ。
石村 有紀乃 （日本／17歳）	思い立ったが吉日	アメリカ留学から今夏帰国した高校生。
Laura Nayeli Molina Gómez （メキシコ／17歳）	Multilingualism	メキシコ出身。2019年夏から神奈川県の高校に留学中。
윤 승우 （韓国／17歳）	多言語の打ち上げ花火	韓国出身。2019年夏から埼玉県の高校に留学中。
유 지혜 （韓国／18歳）	Gradation	韓国在住の高校生。
綾部 瑞希 （日本／19歳）	We are talking right now	アメリカに高校留学。子ども向け英会話講師のアルバイト。
加藤 結羽 （日本／19歳）	人と人がつながるまち	1年間のイタリア高校留学で地域で人と人がつながる秘訣を発見。
河邊 拓也 （日本／19歳）	多言語のある日常はスペシャル！	高校2年生でタイに留学。来春から大学生。
山本 芽依 （日本／19歳）	Flatな環境の中で育った私	高校生でイタリアに留学。将来は養護教諭を目指す。
山崎 彩音 （日本／19歳）	私の国際交流の原点	ドイツに高校留学。大学生。内閣府の韓国派遣に参加。
KHÔI ĐOÀN NGUYỄN （ベトナム／20歳）	FROM LANGUAGES TO CULTURE	ベトナム出身。日本語学校在学中。
三浦 優希 （日本／20歳）	バベルの塔を越える	マレーシアに高校留学。第2回に続き二度目の出場が決定。
伊藤 裕亮 （日本／22歳）	C'est la vie "personne, ことば, love"	フランスに高校留学。仏文科在学中。
島根 咲 （日本／22歳）	外国人に何語で話しかけるか	ドイツの大学留学体験をもとに外国人に何語で話しかけるかを問う。
城戸 詩子 （日本／23歳）	言葉と人の輪	高校生でアメリカに留学。国際色豊かな大学で寮長として活躍。
塩入 あかね （日本／25歳）	今こそ目覚めよ「多言語人間」！	声優と飲食店員を兼業中。英語を話さない外国人客を日々接客。
佐藤 穂奈 （日本／28歳）	伝えたい 分かりたい	第1回大会に出場。現在は育休中で4月から小学校教諭に復帰。
稲元 茜 （日本／29歳）	人生に大切なQUE PADRE!	2児（3歳・2歳）のママ。メキシコへの高校留学が原点。

※年齢は大会当日（2020年3月1日時点）にあわせて算出したものです。

※プレゼンテーションテーマは予選応募時のものです。大会当日は変更になる可能性があります。

※上記の予選通過者に加え、大会前日に行われる再予選通過者も本選に出場します。

# PRESS RELEASE

## 開催概要

**[名称]** 第7回 LEX Multilingual Presentation for Youth Tokyo

**[日時]** 2020年3月1日(日) 10:00~16:00(開場 9:30)

\* 中学3年生以下のヒポファミリークラブ会員による多言語パフォーマンス「KIDS LMP」も同時開催

**[場所]** LINE CUBE SHIBUYA (渋谷公会堂)

東京都渋谷区宇田川町 1-1

**[入場料]** 大人 2,000 円、高校生・大学生 1,500 円、中学生以下 1,000 円 (各 1 席あたり)

### [プレゼンテーションの条件]

- 自分自身の多言語体験に基づいた世界や社会に発信するメッセージであること
- 3つ以上の言語(母語含む)を使用するプレゼンテーションであること

[制限時間] 5分または7分(応募時に選択)

### [出場者(予定)]

動画予選を通過した19名(日本、インドネシア、メキシコ、韓国、ベトナム)

\* 2/29(土)に再予選を行い、若干名の追加出場が決定します。

**[審査]** 「メッセージ性」「多言語」「プレゼンテーション」を基準に複数の審査員で実施

(審査員は言語脳科学や言語社会学等の有識者など 約10名を予定)

**[表彰]** 優秀者には、ヒポトランスナショナルプログラム(海外ホームステイ、高校交換留学、大学留学、海外インターンシップ、多言語キャンプ)の参加費に充当できる副賞が贈られます。

[参考] 前回最高賞: 15万円相当

当日の来場をご希望の方は下記の URL より入場チケットをご購入ください。定員になり次第締め切りになります。

<http://bit.ly/2P5y25l>

[代金] 大人 2,000 円、高校生・大学生 1,500 円、中学生以下 1,000 円 (各 1 席あたり)

\* ご購入時に入力いただいたメールアドレスに受付用 QR コードのリンクが届きます。入場の際はスマートフォンで表示しご提示いただくか、プリントアウトしてお手元にご用意ください。

\* チケットの購入に関するお問い合わせ先:

LMP実行委員会(一般財団法人 言語交流研究所・ヒポファミリークラブ内)

TEL: 03-5467-7041 (受付時間 平日9:00~17:30) E-MAIL: [imp@lexhippo.gr.jp](mailto:imp@lexhippo.gr.jp)

### ■一般財団法人 言語交流研究所

1981年10月、多言語活動の提唱者である榊原陽氏が設立。以来、「ことばと人間」を研究テーマに、多言語の自然習得及び多国籍間交流の実践を通して、言語と人間の科学的探究を進め、国際間の理解と人類の共生に寄与することを目的とした活動を行っている。2013年1月に一般財団法人に移行、2019年10月に設立38周年を迎えた。

### ■ヒポファミリークラブ

一般財団法人 言語交流研究所が運営する「ヒポファミリークラブ」(会員制)は、「多言語の自然習得活動」、「国際交流活動」、「研究・開発活動」の3つを柱とし、家族や地域の会員と共に、様々な国や地域のことばを自然に身につけ、様々な人に出会い、共に育つことのできる環境づくりに取り組んでいる。日本国内には約700か所の活動場所があり、海外(アメリカ、メキシコ、韓国、台湾)にも活動が広がっている。オフィシャルサイト <http://www.lexhippo.gr.jp/>